

公 表 日

令和元年 7月19日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度 気候変動を踏まえた治水計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 村山 一弥 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 元年 7月19日
契約業者名	令和元年度気候変動を踏まえた治水計画検討業務国土技術研究センター・東京建設コンサルタント設計共同体
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル
契約金額	48,972,000円(税込み)
予定価格	48,972,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 7月20日
履行期間(至)	令和 2年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度 気候変動を踏まえた治水計画検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 令和元年度気候変動を踏まえた治水計画検討業務国土技術研究センター・東京建設コンサルタント設計共同体
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、既に顕著化してきている気候変動の影響による外力変化に対応するため、気候変動による影響の治水計画への反映方法、水害リスクを考慮した土地利用の推進方策及び将来の更なる外力増大に対して手戻りが生じない治水対策の選定方法を取りまとめ、水災害分野における気候変動適応策の推進に資することを目的とするものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・気候変動による影響の適切な把握・評価と治水計画への反映方法の検討・・・・・・・・ 1式
- ・水害リスクを考慮した土地利用の推進方策の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・将来の更なる外力増大に対して手戻りが生じない治水対策の選定方法の検討・・・・・・・・ 1式
- ・報告書作成・・ 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を23者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高く、工夫が図られており、最も優れた記載であること、及び特定テーマの「気象の将来予測計算結果を用いた高水流量の検討における考慮すべき点」に対する技術提案について、説得力のある優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川計画課長